

(新)小平市リサイクルセンターの機能

1 施設の概要

(1) 所在地

小平市小川東町5丁目19番10号

(2) 稼働時期

平成31年4月1日(月)

(3) 施設の概要

① 敷地面積：約11,500㎡

② 建築面積：約2,800㎡、延床面積：約4,100㎡(2階建て)

③ 施設規模：ビン処理設備 12.6t/日

カン処理設備 5.6t/日

※ビン及びカン処理施設は共通1ライン

④ 処理品目：ビン、カン、紙パック、電池、蛍光管、古布類、ふとん、剪定枝、紙資源等

⑤ 施設の内容

資源化エリア、プラザエリア、地域還元エリアの3つに分け、プラザエリアにはリサイクル工房(約300㎡)、多目的ルーム(約200㎡)、啓発スペース、見学スペース、職員事務室(約100㎡)を設ける予定である。

2 新リサイクルセンターの役割

(1) 資源物等の再資源化を適正かつ効率的に行うとともに、再生品の展示等を通してごみの排出抑制の意識を高めるなど、3Rの普及啓発等を推進する役割を担う。

(2) 市民のリサイクル活動のための情報交換の場を提供し、リサイクルの輪を広げていくとともに、環境教育やリサイクルに関する事業を展開し、市民の関心や知識を深め、積極的な取組が行えるようにするなど、地域における「リサイクル活動の拠点」「環境学習の発信拠点」としての役割を担う。

3 資源循環課事務室の移転

平成31年4月1日から、資源循環課の事務室を(新)小平市リサイクルセンター内に移転する。

なお、事務室の移転に伴う変更については、事前に市報・市ホームページ等で周知するほか、平成31年2月に全戸配布を予定している資源とごみの出し方パンフレットへの掲載、及び説明会等で市民に十分に説明するものとする。

〈事務室移転の効果〉

○循環型社会構築のための様々なイベントや講習会を展開

現在実施している不要傘から作るマイバッグ講習会、ダンボールコンポスト講習会、廃食油から作るせっけん講習会、食物資源堆肥化講習会をはじめ、新たな事業として小学生向けの木工教室や主婦向けのシミ抜き教室など、リサイクルや環境関連の様々なイベントや啓発事業を積極的に実施する。

また、新施設では、新たに陶磁器食器や小型家電、廃食油の常時回収などを実施し、ごみの排出抑制の意識を高める取組を推進する。

○リサイクル活動、環境学習の発信拠点としての役割を、市民と事業者、職員が協働して構築
新リサイクルセンターを拠点にして、職員が、環境団体をはじめ、青少年対策地区委員会や福祉作業所、その他様々な団体と協働し、環境学習への市民協働の仕組みを再構築する。
また、環境に関するイベント・教室等を通して、地域の市民が誇れるような施設にしてい

く。
○職員による施設の円滑な管理

市内外からの施設見学者等に臨機応変に対応すると共に、来所者の安全確保や、搬入車両の事故防止と突発事案への即時対応を行う。

近隣を含めた市民からの苦情や要望にも速やか対応し、市民対応の質の向上を図る。